

広聴・広報活動と情報公開

原子力機構は、国民の皆様のご理解と社会からの信頼を基にして研究開発を進めております。このため、環境に関することを含め、積極的に情報を発信し、また、地域の皆様との双方向コミュニケーションに努めています。

<http://www.jaea.go.jp/04/kouhou/>

広聴・広報活動

国民の科学技術や原子力への理解の増進と成果の普及、還元を図るため、ホームページや対象者層別に作成した広報誌により研究開発活動の内容や成果をタイムリーに分かりやすく伝えるほか、報告会、外部展示会、施設見学会などを通じて、直接皆様の声を伺う双方向の交流に努めています。また、次代を担う青少年の理数科教育への支援、教育、さらに、国民の皆様と研究者・技術者との直接対話を通じて、研究開発活動の現状と成果について理解を深めていただくとともに、皆様からの声を反映するため、アウトリーチ活動を積極的にすすめています。例えば、皆様のコミュニティにお伺いして、ご希望のテーマについてお話しさせていただき講師派遣、皆様と研究者・技術者が科学について語り合うサイエンスカフェの開催、研究現場を体験していただく施設公開や見学の受入、子供たちに科学の魅力や楽しさを体験していただく展示施設での実験教室・工作教室の開催、学校への出張実験教室の開催などを行っています。

注目度の高い研究開発成果については、報道機関を通じて積極的に情報発信するとともに、事故トラブル時には、迅速かつ正確な情報提供に努めています。



青少年のための科学の祭典 2010
(2010年8月東京都千代田区)



サイエンスカフェ in リコッティ
(2010年9月茨城県東海村)



第5回原子力機構報告会
(2010年10月東京都千代田区)



つくば市立豊里中学校への出張授業
(2010年11月茨城県つくば市)

情報公開・情報提供

原子力機構の組織、業務及び財務等に関する基礎的な情報についてホームページで情報提供するとともに、インフォメーションコーナーにて各種資料を閲覧等に供しています。

また、外部有識者からなる「情報公開委員会」を設置し、同委員会の意見を踏まえ、法律に基づく情報公開度が円滑かつ適切に運用されるように努めています。

各種報告会等の開催

http://www.jaea.go.jp/02/2_2.shtml

原子力機構の業務や研究成果などを広く皆様にご覧いただくため、各種報告会や施設等の見学会を多数開催しました。また、各種展示会にも出展しました。

主な報告会・見学会・展示会の実績（2010年度）

報告会等の名称	開催年月	開催場所
原子力体験セミナー	2010年 7月	茨城県大洗町
東海研究開発センター施設見学会・実験教室&J-PARC公開	2010年 8月	茨城県東海村
第5回原子力機構報告会	2010年 10月	東京都千代田区
第5回高崎量子応用研究シンポジウム	2010年 10月	群馬県高崎市
環境・エネルギーシンポジウム	2010年 10月	岡山県鏡野町
幌延フォーラム 2010	2010年 10月	北海道幌延町
核融合施設見学会	2010年 10月	茨城県那珂市
関西光科学研究所 木津川市開設 10周年記念式典	2010年 11月	京都府木津川市
第6回むつ海洋・環境科学シンポジウム	2010年 11月	青森県むつ市
もんじゅフォーラム	2010年 12月	福井県美浜町
東濃地科学センターセミナー	2011年 2月	岐阜県瑞浪市
第6回東海フォーラム	2011年 3月	茨城県東海村

エコプロダクツ 2010 で環境に優しい研究開発成果を紹介

2010年12月9日～11日、日本最大級の環境展示「エコプロダクツ2010」が東京都江東区にあるビッグサイトで開催されました。

今回の出展が2回目となる原子力機構は、技術協力を行った植物活力剤、眼鏡用デモレンズ、ジェルプロテクターなどを展示し、放射線が日常生活において役立っていることを紹介しました。また、プラズマボールの展示、人工ダイヤモンドの実験教室および3D映像の放映は、子どもたちから大変人気があり歓声を上げる光景がみられました。

会場には3日間で約18万人の来場者があり、原子力機構ブースにもたくさんの方にお越しいただきました。ブースを訪れた方は、「放射線がこんなところで利用されているのは知らなかった」など関心いただける声もいただき、展示された製品について熱心に説明員に質問を寄せる方もおられました。

今回の出展では、実験教室や3D映像を取り入れたことで、大人だけでなく子どもからも注目していただけたと思います。今後も、研究開発成果を身近に感じていただけるよう、情報発信に努めていきたいと思っています。



人工ダイヤモンドの実験中



飛び出す3D映像に興味津津の子どもたち

「次世代への挑戦」をテーマに第5回原子力機構報告会を開催

原子力機構は、2010年10月13日、東京都千代田区にある有楽町朝日ホールで、第5回原子力機構報告会を開催しました。今回の基調テーマは「グリーン・イノベーションからライフ・イノベーションまで（次世代への挑戦）」。

約700名の方に参加いただいた報告会ではまず、理事長が開会挨拶と機構の全般的な活動を紹介。続いて次世代原子力システム研究開発部門長が、『もんじゅ』を活用したFBRサイクル実用化への展開を報告しました。さらに量子ビーム応用研究部門長が「生命科学・先端医療への展開（量子ビームテクノロジー）」を、核融合研究開発部門長が「ワールドフュージョンコロラボ 夢のエネルギー実現への挑戦」をテーマに報告を行いました。

後半は、毎日新聞社主筆の岸井成格氏が「エネルギー・環境問題への国際戦略」と題して特別講演。身近となっている環境問題について、私たち一人一人が取り組むべき課題や、我が国としての戦略について示唆に富む話をいただきました。

最後に、副理事長が、閉会挨拶を行い、報告会を締めくくりました。



ホールの様子